

第168回
品種見本市

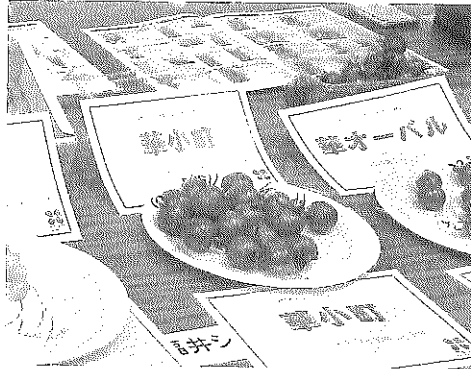
多様な野菜を展示

収量、秀品率などチェック

「第168回品種見本市」は2月4日、東京・大田市場で開かれ、種苗メーカー13社がトマトやニンジンなど50品種を展示した。耐暑性や耐病性を付与すると味や収量が落ちる傾向がみられる中で、生産者や流通業者など約300人の参加者たちは売れる商品を目指し、食味や収量性、秀品率のほか、環境への対応や話題性などもチェック、栽培計画や販売計画を立てていた。

出品多いトマト品種

出品数が多かったのはトマト。ミニトマトは黄



中玉トマト「華小町」(福井シード)



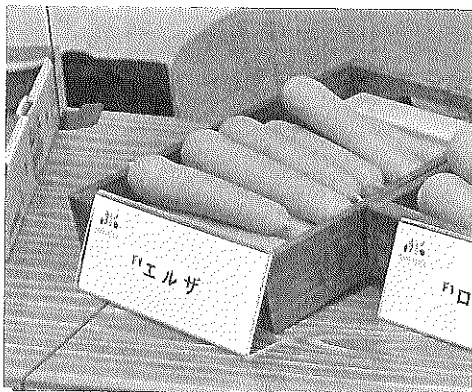
ミニトマト「なつめっ娘クリスピー」(丸種)



ミニトマト「TYほれまる」(渡辺農事)



「アロマレッド810」(トーホク)



「エルザ」(ヴィルモランみかど)



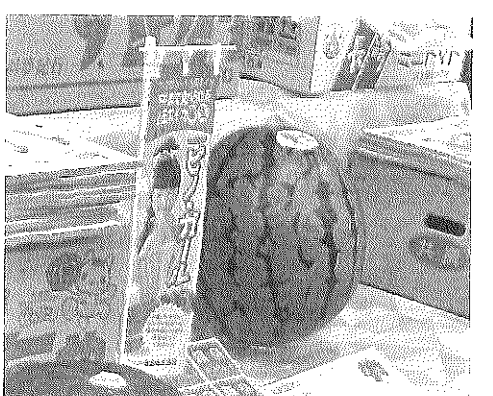
大玉トマト「桃太郎ブライト」(タキイ種苗)



「タフボーイ」(八江農芸)



「栗かぐや」(カネコ種苗)



「ピノ・ガール」(ナント種苗)



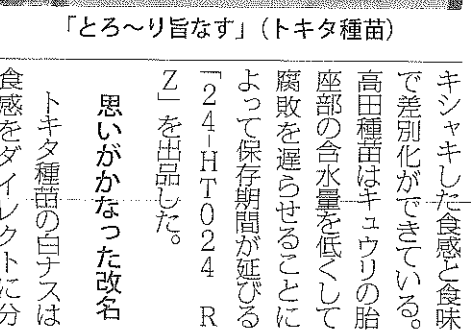
「とろ〜り旨なす」(トキタ種苗)



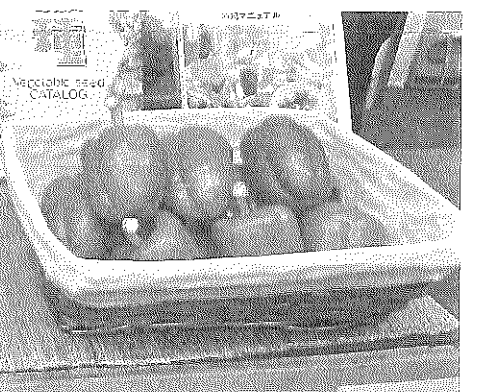
「24-HT024 RZ」(高田種苗)



「ちぢみこまつ菜」(渡辺採種場)



「P-Plus」(住友ベークライト)



パプリカ(横浜植木)

化葉養病耐病性の渡辺農町の「TYほれまる」、環境に配慮した丸種のへたなし出荷ができる「なつめっ娘クリスピー」。中玉は裂果が極めて少ない福井シードの「華小町」。

大玉はタキイ種苗の「桃太郎ブライト」。ニンジンにはヴィルモランみかどの「エルザ」、中玉はタキイ種苗の「アロマレッド810」。

「ダブル耐病性で対処」ナント種苗の小玉スイカ「ピノ・ガール」は、うどんこ病、炭疽病のダブル耐病性で対処。

カネコ種苗の「栗かぐや」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。

八江農芸の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。

トキタ種苗の「とろ〜り旨なす」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。

住友ベークライトの「P-Plus」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。カネコ種苗の「タフボーイ」は、低温肥大性に優れている。